

令和4年度

事業計画



社会福祉法人

あじさいの家

目次

1、あじさいの家 基本理念	1
1)目的	1
2)運営方針	1
3)重点項目	1
2、日課	1
3、運営組織図及び担当	2
4、年間行事計画	3.4
5、利用者及び職員概況一覧	5.6
6、業務内容及び活動内容	7
●運営	7
〈総務部〉	7
◎広報	7
◎施設管理	7
◎防災管理	7
◎車両管理	7
〈支援部〉	7
◎行事	7
◎交流	8
◎実習	8
◎安全・防災	8
◎医務・健康	8
◎研修	8
【生活介護】	8
◎活動	8
○創	9
○楽	9
○動	9
○人形劇	9
【日中一時支援】	9
【短期入所】	9
〈事務部〉	9
◎経理・事務	10

1、あじさいの家 基本理念

1)目的

一人ひとりが日々充実して過ごし、生活の幅を広げながら、安心して地域生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

2)運営方針

- ・ 生きがいを持って、豊かに暮らすことができるように支援する。
- ・ 安全で健康的な生活を送ることができるよう支援する。
- ・ 一人ひとりの個性が発揮できるよう支援する。

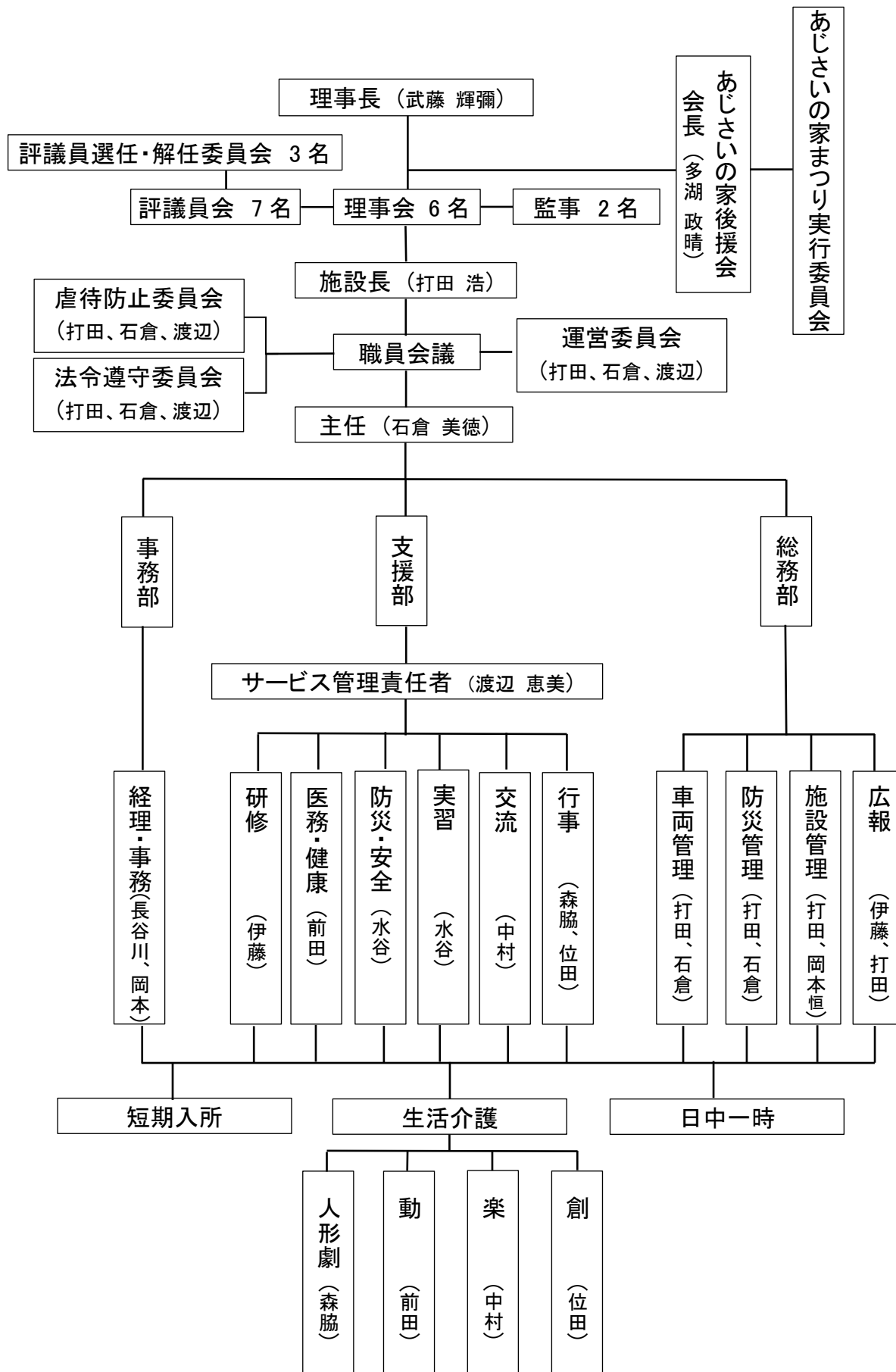
3)重点項目

- ・ 一人ひとりの個性を尊重し、自己表現できる場や機会を設定する。
- ・ 一人ひとりの障がいの特性を的確に把握し、体調の変化には絶えず留意する。
- ・ 地域とのかかわりを大切にし、社会資源を有効に使ったり、地域に積極的に出かけに行くなど、いろいろな体験をすることで生活の幅を広げる。
- ・ 居宅生活が安心して送れるよう支援する。

2、日課

8:30	職員打ち合わせ	14:00	午後の活動
8:40	送迎及び準備	15:15	片付け、帰宅準備
9:30	活動準備	15:45	帰りの会
10:00	朝の会	16:00	帰宅(送迎)
10:30	午前の活動	16:00	記録(清掃)
11:40	昼食準備	16:30	会議(活動準備)
12:00	昼食、休憩	17:30	帰宅

3、運営組織図及び担当



4、年間行事予定

	法人関係	施設運営関係	行 事	交 流
4月	辞令交付(1)	安全点検(20) 職員会議(12)		
5月	法人監査	安全点検(上旬) 職員会議(10) ケース会議(10)		
6月	理事会 評議員会	安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(中旬)	
7月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(初旬) 七夕会	
8月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬)	ジュニアアンサンブル
9月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議		
10月	理事会	安全点検(上旬) 避難訓練 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬)	
11月	評議員会	安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	あじさいの家餅つき	いなべ市障がい者 スポーツ交流会(5)
12月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(初旬) クリスマス会 お楽しみ会(下旬)	いなべ市 人権フェスティバル
1月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬) 初詣	
2月		安全点検(上旬) 職員会議 ケース会議	誕生会(下旬) 節分	
3月	理事会 評議員会	安全点検(上旬) 避難訓練 職員会議(31) ケース会議		

	実習	医務・健康	研修	人形劇
4月		体重測定	井後PT訓練会(12)	
5月	ユマニテク実習 (25~27)(30~5/1)	平山医師健康診断 体重測定	井後PT訓練会(10)	エンゼル幼稚園人形劇公演 (30)
6月		体重測定	井後PT訓練会 井後PTによる施設内研修	
7月	いなべ市新人職員研修	体重測定	井後PT訓練会	
8月		体重測定	古川PT研修会(9) 井後PT訓練会 多田T訓練会 静的弛緩誘導法研修	
9月		体重測定	井後PT訓練会	
10月	ユマニテク実習 北勢中学校勤労体験	体重測定 健康診断	井後PT訓練会 虐待防止についての研修	
11月		体重測定 インフルエンザ予防注射	井後PT訓練会 施設内研修	
12月		体重測定	井後PT訓練会	
1月		体重測定	古川PT研修会(25) 井後PT訓練会	
2月		体重測定	井後PT訓練会	
3月		体重測定	井後PT訓練会	

5、利用者及び職員概況一覧

1、利用者の状況

令和4年4月末現在

(1)通所状況

利用者定員 20名 利用者実数 18名

(2)入退所状況

令和4年度 新規利用者 男性 0名 女性 0名
 令和3年度末 退所者 男性 0名 女性 0名

(3)曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	1日平均	昨年度
男	9	8	9	12	12	10	10.4
女	3	2	2	4	2	2.6	2.6
計	12	10	11	16	14	12.6	13

(4)通所市町

市町	いなべ市	東員町	桑名市	四日市市	菰野町	計
男	7	3	3	0	1	14
女	2	0	0	2	0	4
計	9	3	3	2	1	18

(5)年齢別在所者数

年齢	18～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均年齢
男	0	5	6	2	1	14	36.2歳
女	0	0	2	1	1	4	40.8歳
計	0	5	8	3	2	18	37.2歳

(6)施設在所者数

平均在席年数 13.8年

在籍年数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	計
男	0	0	0	1	3	10	14
女	0	0	0	0	2	2	4
計	0	0	0	1	5	12	18

(7)障害手帳保有状況

	1種		2種	計
	1級	2級		
男	12	2	0	14
女	4	0	0	4
計	16	2	0	18

(8)障害程度(療育手帳判定による)

	A 最重度	A 重度	A1	A2	計
男	7	1	3	3	14
女	2	2	0	0	4
計	9	3	3	3	18

(9)障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分3～5	区分 6
男	0	0	0	14
女	0	0	0	4
計	0	0	0	18

(10) 日常生活状況

・移動 ※ 自力歩行、自助具を使用される方は、車椅子も併用している。

	自力歩行	車椅子使用	補助具移動	自力	半介助	全介助
男	1	14	1	0	1	13
女	0	4	0	0	0	4
計	1	18	1	0	1	17

・排泄

	自立	見守り	全介助
男	0	2	12
女	0	0	4
計	0	2	16

・食事

	自立	見守り	半介助	全介助
男	0	1	1	12
女	0	0	3	1
計	0	1	4	13

・食事形態 ※ 口からの摂取と経管栄養の併用有り

	普通食	普通食(一口)	刻み	ペースト(重複)	経管(胃瘻)	経管(鼻腔)
男	0	3	0	11(4)	3	1
女	0	3	0	1(1)	1	0
計	0	6	0	12(5)	5	1

・医療的ケア状況

	口腔内吸引	気・切吸引	胃瘻	鼻腔	導尿	尿路ストーマ
男	6	0	4	1	1	1
女	1	0	1	0	1	0
計	7	0	5	1	2	1

2. 職員の状況

(1) 就退職状況

令和4年度新規採用者 男性 0名 女性 0名
 令和3年度内退職者 男性 0名 女性 0名

(2) 職員状況

職名	正規職員		パート職員		業務委託職員		計
	男	女	男	女	男	女	
施設長	1						1
副施設長	1						1
サビ・管		1					1
支援員		6	1	5			12
看護師		1		1			2
事務員				2			2
調理員				2			2
運転士			1		1		2
計	2	8	2	10	1	0	23

※支援員の常勤換算人数 10.9人

6、業務内容及び活動内容

●運営

施設運営全般に関わるすべての内容が、正確に機能するよう提案、管理、調整を行う。なかまの生活全般について現状を把握し、定期的な会議に加え、必要時には、迅速な対応と職員間の共通認識のもと、協力体制を整えていく。また、ホームページの積極的な活用や、施設の今後についても検討していきたい。

〈総務部〉

◎広報

広報『あじさい』や野外掲示板などを通し、なかまの様子や活動を地域の方に知ってもらう。施設内掲示板も定期的に更新し、なかまや家族、訪問者等が見て楽しんでもらえるような内容を工夫していきたい。

◎施設管理

施設建屋、施設敷地内のすべての備品、設備等を総括して管理する。いなべ市山郷重度障害者生活支援センターの家屋においては、安全・防災と連携し施設内の安全点検をもに破損箇所及び改善箇所等の早期発見及び対処に努める。

また、旧あじさいの家の建屋及び敷地内の現状を維持するよう努めると共に、昨今の社会情勢を鑑み、セキュリティの強化にも努める。

◎防災管理

施設内の防災システムを総括して管理する。年2回の設備点検は、引き続き有限会社アシストに依頼して行う。

前年度より始めたBCP(事業継続計画)の策定に関しては、今年度も引き続き取り組むと共に、災害時には実際に稼働できるように備品や環境の整備を、より充実させる取り組みを行う。

◎車両管理

施設保有の車両を管理し、運行の安全を確保する。車両の不具合の早期発見や、車検の時期も把握し、送迎業務の影響が最小限になるよう管理する。

また、今年度より義務化された、乗務する職員の事前のアルコールチェックも行い、記録していく。乗務する職員一人ひとりが、安全第一で乗務し運行するように啓蒙する事も大切である。

今年度は車両の管理だけでなく、職員の安全意識の向上にも努めたい。

〈支援部〉

◎行事

今年度も、『なかま一人ひとりが主役になる』という思いを大切に、誕生会を行う。また、季節の移り変わりを感じながら、毎日が楽しく充実したものになるよう、工夫し実施していきたい。

また、外部に出かけるものについては、新型コロナウイルスの感染予防対策をし、なかまの

体調、安全、周囲の環境に気を付けながら実施していきたい。

◎交流

新型コロナウイルスの感染に関しては、近隣の状況を把握すると共に予防対策を万全にしつつ、地域との関わりを深める。なかまの体調に留意しながら、多くの体験や社会参加の場に積極的に取り組む。

◎実習

今年度も新型コロナウイルスの感染予防を万全にし、可能な限り積極的に受け入れていく。年齢や目的に応じて体験を行い、実習生、なかま、職員、それぞれがお互いに刺激を受け、意義のある時間となるような実習としたい。

◎安全・防災

今年度も引き続き、月一回の安全点検を行う。

年二回の避難訓練については、避難経路の確認を行い自力避難が困難ななかまが、安全に避難できるよう方法を考え試してみる。また、車両からの避難を想定した緊急対処訓練も行ってほしい。

令和6年から義務化されるBCP(事業継続計画)策定、マニュアル作成に取り組む。

日頃から防災意識を高めるために、地震や水害等の自然災害時の色々な状況も想定して対応出来るよう、定期的に話し合いの場を設けていきたい。

◎医務・健康

引き続き今年度も、新型コロナ感染予防を徹底する。嘱託医による健康診察、体重測定、医療機関での健康診断、インフルエンザ予防接種を行い、なかまの健康管理に努める。また、必要に応じて医療的ケア会議を実施していきたい。

職員同士でなかまの健康状態については情報共有し、なかまが楽しく安全に活動できるようにしたい。

◎研修

一人ひとりの障がいや特徴について職員間での共通理解を図り、なかまが心身共に健康で過ごせるように研修を行っていく。加えて、施設内研修などを実施し、職員のスキルアップを目指していきたい。また、専門的知識が得られるよう、施設外研修には出来る限り参加し、職員全体にフィードバック出来るような体制をとっていきたい。

【生活介護】

◎活動

今年度も活動を「創」「楽」「動」に大きく3つに分けて活動する。

それぞれの目的を持ち自由な発想で、なかまの色々な表情を引き出せるように工夫し、取り組んでいく。

人形劇は単独の活動とする。

○創

創作活動においては用いる素材を工夫し、創作の過程で五感を使い楽しめる活動にしたい。また、なかまが楽しみにしている調理や季節を感じられる内容を取り入れていきたい。

○楽

楽しむことを目的とし、色々な内容を取り入れ、一人ひとりが自由な形で楽しみ、気分転換やリフレッシュが出来る活動を行う。

○動

定期的な訓練と身体活動を実施していく。訓練に関しては、月一回行われる外部の理学療法士による訓練会の内容を中心に、一人ひとりに適した活動にしていきたい。

身体活動においては、体を動かす事が刺激となり、一人ひとりが自分なりの表現ができる内容としたい。

なかまの体調などに配慮し、無理のないよう実施していく。

○人形劇

公演に関しては、交流や対外的な行事に関わる大切な活動であるので、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、なかまの健康、安全の確保ができる事を前提とした上で、実施する。

また、人形劇を、『ラーな人形劇団 味彩(あじさい)』と名称を新たにし、様々な方になかまの事を知っていただくと共に一人ひとりが主役になれる場となるよう、社会参加につなげていく。

合わせて、コロナ禍で人形劇の休演が続く間に、道具の準備や点検等を行い、公演に備えていく。

【日中一時支援】

定期的な利用としては、日中活動後、週2回(月・水)の入浴サービスとするが、個々の事情や必要に応じて、日数や曜日の変更等迅速に対応する。また、生活介護の時間外や休日利用等にも対応する。特に緊急時の対応については体制を日頃から準備し、いつでも安心して出来るようにする。

【短期入所】

今年度も定員2名、24時間、365日利用可能とする。

個々の事情を的確に捉え、緊急時であっても躊躇する事なく安心して利用出来るように体制を整えるとともに、職員同士や家族との連携をしっかりとっていく。また、近年の社会事情により、いろいろな感染での利用について、今後不安のないよう対策について話し合いを進めていく。

〈事務部〉

◎経理・事務

各帳簿整理と小口現金等の出納を管理し、施設会計及び法人本部会計等、すべての会計管理業務を行う。チェックは複数職員で関わり、透明化を図る。今年度も引き続き菊山会計事務所と連携し、明瞭で確実な業務に努める。

また、備品や消耗品等については、在庫量にも配慮し、日常の施設運営や活動に支障のないよう努める。

令和4年度



あじさいの家